

ODYSSEY OF WIND

C
いいとこみっけ

「風の又三郎」再演にむけて

「風の又三郎」は自然そのものを描いている。私たちににとって最も身近な自然は我々の身体だが、それが失われて久しくなってしまった。しかし生命体である限りこの身体から逃れられないのが現実だから、自然と身体との乖離はきわめて難しい状況を作り出している。

今後、私たちはその一体感を保持しなければ生きてはいけまい。

この全体像を舞台を使って描いているのが本作品だ。

未来に向かってのひとつの矢印としてみなさんの心に残ることを願う。 小池博史



風とともに旅をしよう。東北と世界をむすんで



KIKH
KIKH
Bridge
Project

<http://kikh.com/kaze2016>



風の又三郎 2016

宮沢賢治生誕120年記念 4館共同制作
小池博史ブリッジプロジェクト

茅野市民館 マルチホール 2016年 11月 2日(水) 19:00 開演

風の又三郎 2016 -ODYSSEY OF WIND-

“風”を感じる 見えないものが見えてくる

宮沢賢治の生誕120年に贈る、こどもたちの物語「風の又三郎」の、一風変わった不思議な舞台。能楽、ダンス、演劇、アクロバット、生演奏で織りなす作品です。心の風景が浮かび上がる、自然と人との大切なつながりを、この地に暮らすこどもたち、おとなたち、皆さんにお届けします。

「風の又三郎2016 -ODYSSEY OF WIND-」

「注文の多い料理店」(2013年)に続き、茅野市民館が贈るKENJI×小池博史ブリッジプロジェクト作品。東北のとある小学校。風のないいたづらをする不思議な転校生・三郎と村のこどもたちの交流を、現実と幻想との交錯で描いたユーモアあふれる物語『風の又三郎』。もうひとつ、風の精・又三郎が、八ヶ岳をはじめ世界中の大地や海を駆け巡る物語をこどもたちに語る『風野又三郎』。宮沢賢治によるふたつの「又三郎」を原作に、東日本大震災後の世界を再構築した作品です。

公演日程

2016年11月2日(水)

19:00開演(18:30開場)

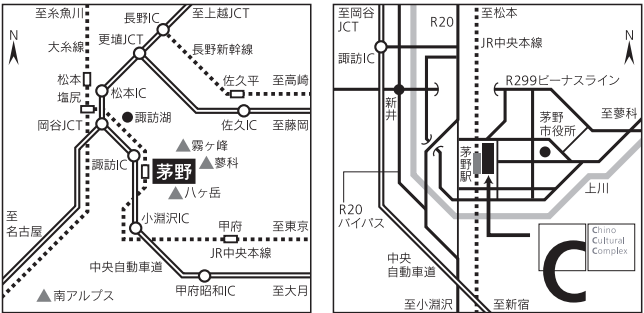
上演時間 約75分(休憩なし)

*終演後、関係者によるアフタートークを予定

*茅野市内全小学4年生対象の鑑賞(プレビュー公演)が11月1日(火)にあります

会場

茅野市民館 マルチホール



〒391-0002 長野県茅野市塚原一丁目1番1号 tel 0266-82-8222
http://www.chinoshiminkan.jp/

く アクセス く

電車:JR中央本線・茅野駅下車、東口直結
車:中央自動車道・諏訪ICより車で約12分

料金

全席自由 *当日は各500円増

大人 2,000円 /子ども(高校生以下) 1,000円
親子 2,500円

く茅野市民館友の会(前売のみ)く

大人 1,900円 /子ども(高校生以下) 900円
親子 2,400円

く発売日く 2016年7月30日(土)

くお問い合わせ/チケット取り扱いく

茅野市民館	0266-82-8222 (受付9:00~20:00・火曜休館*) *火曜日が祝日の場合その直後の休みでない日
友の会事務局 NPO法人サポートC (茅野市民館内)	0266-82-8230 (13:00~19:00 火曜休)
〔茅野市〕	シマダヤ楽器店、ベレックLCV
〔諏訪市〕	平安堂諏訪店
〔岡谷市〕	笠原書店本店
〔富士見町〕	今井書店ふじみ店
〔松本市〕	松本井上プレイガイド
〔インターネット取扱い〕	EVENT-NAGANO https://www.event-nagano.net

出演・振付:清水寛二(能楽師・鍬仙会)、
松島 誠、小谷野哲郎、谷口 界、
立本夏山 [オーディション合格者]、松縄春香
演奏:中村明一(尺八)、下町兄弟(ジャンベ・パーカッション)
原作:宮沢賢治(「風野又三郎」「風の又三郎」より)
演出・脚本・振付・構成:小池博史
舞台美術:鈴木康広 作曲:菅谷昌弘、中村明一
衣装:浜井弘治 映像:飯名尚人

照明:上川真由美 小道具:五十嵐彩乃
音響:印南昭太郎 音楽プラン:小池博史
衣装アシスタント:保高三千代 演出助手:松縄春香、加藤典子
舞台監督:中原和樹 宣伝写真:小池博史 宣伝美術:阿部航太
制作協力:株式会社サイ

主催:茅野市民館指定管理者 株式会社地域文化創造
助成:一般財団法人地域創造
平成28年度文化庁劇場・音楽堂等活性化事業
後援:茅野市、茅野市教育委員会、岡谷市教育委員会、諏訪市教育委員会、下諏訪町教育委員会、富士見町教育委員会、原村教育委員会、諏訪教育会、信濃毎日新聞社、長野日報社、信州・市民新聞グループ(7紙)、FM長野、エルシーブイ株式会社、株式会社長野こまち、月刊ぶらざ、JR東日本 長野支社、諏訪地方観光連盟、茅野商工会議所、信州諏訪農業協同組合、読書の森 読りーむinらの協力:福永紙工株式会社、株式会社うとはまいデザイン事務所、オフィス・サウンド・ボット、SIBAU RECORDS、Office KOIKE

小池博史

演出家・作家・振付家・舞台美術家・写真家、
「舞台芸術の学校」代表。1982年に「パパ・タラフマラ」を設立。以降、全55作品の作・演出・振付を手掛け、国際的に高い評価を確立。2012年に「パパ・タラフマラ」を解散、『小池博史ブリッジプロジェクト』を発足。97~04年つくば舞台芸術監督、アジア舞台芸術家フォーラム委員長、国際交流基金特定寄附金審議委員(05年~11年)等さまざまな審議員、審査員等を歴任。茅野市民館では市民創作ワークショップ・公演(12年)、「注文の多い料理店」上演(13年)。



4館共同制作と創作プログラム[KENJI]について

この公演は、長野市芸術館、パルテノン多摩、茅野市民館、日立システムズホール仙台4館の連携事業です。仙台市にて本公演に先立ち「嘉助」役のオーディションとクリエーションを実施し、長野・多摩・茅野・仙台でツアー公演を行います。また共同制作の一環として、各地域の市民とともに“創作プログラム”を実施しました。小池博史による台本「KENJI」をもとに、各地の市民が舞台作品に取り組むプログラムと、子どもたちを対象としたワークショップと鑑賞プログラムを実施。地域それぞれ、参加市民一人一人の個性と表現力、創造性を引き出し、プロセスを最重視した取り組みは地域に熱を生み、文化を育てています。

「風の又三郎2016 -ODYSSEY OF WIND-」
【長野県／長野市】長野市芸術館 アクトスペース
10月22日(土) 17:00開演 23日(日) 14:00開演
【東京都／多摩市】パルテノン多摩 小ホール
10月29日(土) 14:00開演
【長野県／茅野市】茅野市民館 マルチホール
11月2日(水) 19:00開演
【宮城県／仙台市】日立システムズホール仙台 シアターホール
11月6日(日) 14:00開演

○ 創作プログラム[KENJI]
【長野市】 4月29日~5月12日
【多摩市】 6月11日~18日(14・15除く)
【仙台市】 7月2日~12日

○ 子ども創作ワークショップ+鑑賞プログラム
【茅野市】 10月・11月(予定)



2014年に吉祥寺シアターで上演された話題作が、オーディションで選ばれた新キャストを加え2016年よみがえる！
舞台美術は2009年羽田空港「空気の港」や瀬戸内国際芸術祭2010などで注目をあつめるアーティスト、鈴木康広が担当。
能楽師、ダンサー、バリ舞踊家、アクロバットパフォーマーなど多彩な男性5名らと
世界的な尺八奏者、中村明一・ラッパ―下町兄弟の演奏、元イッセイミヤケコレクションデザイナー、浜井弘治による衣装などが“風の吹く空間”を創り上げる。

公式サイト http://kikh.com/kaze2016

小池博史 風の又三郎 検索

facebookページ https://www.facebook.com/kikhproject
公式twitter @kikhproject
小池博史ブリッジプロジェクト公式メールマガジン
http://kikh.com/magazine_arc.html